

日本学術会議・哲学委員会いのちと心を考える分科会主催 公開シンポジウム

いのちのちゝは いかに 語りうるか？

生命科学・生命倫理における人文知の意義

2016.11/26 (Sat.) 13:30-17:00

日本学術会議講堂 (地下鉄千代田線乃木坂駅すぐ)

事前登録不要入場無料

齋藤光 (京都精華大学) 「遺伝子」概念・「細胞」概念のゆらぎと拡散

小松美彦 (武蔵野大学) 〈いのち〉はいかに理解されてきたのか — 科学的生命観と人生論的生命観

島蘭進 (上智大学) 〈いのち〉の始まりをめぐる生命倫理 — 「限りあるいのち」と「いのちをつくること」

安藤泰至 (鳥取大学) 〈いのち〉の終わりをめぐる生命倫理 — 「いのちを守る」とはどういうことか？

特定質問者 大庭健 (専修大学) / 轟孝夫 (防衛大学校) 司会 香川知晶 (山梨大学)

共催: 日本生命倫理学会・基礎理論部会 お問い合わせ: jinbunchi2016@excite.co.jp